

災害メンタルケア実習

揺れ動く福島 -13年目を迎えた被災地の課題-

2024年3月16日（土）

13:00～15:30

ウェビナー開催
(参加費無料)

災害時に心理支援活動を行う予定のある方、
または興味のある方対象

東日本大震災から13年目を迎えていますが、まだ2万7千人もの避難者がおられる一方、被災地では移住される住民の方も急激に増えるなど、被災状況は大きく変わっています。また復興の長期化に伴い、様々な復興従事者、とりわけ被災自治体職員のメンタルヘルスもまた憂慮されるところです。本プログラムでは、こうした新たな課題も踏まえた福島被災地の現状と将来について考えていきたいと思えます。



特別講演

開沼 博（東京大学大学院情報学環准教授）
「福島復興13年目の難題と可能性」

話題提供

瀬藤乃理子（福島県立医科大学）

「原発事故の影響下で働く福島県沿岸部の自治体職員のメンタルヘルス」

小林智之（福島県立医科大学）

「原発被災地における開拓型移住の考察」

お申し込み方法：

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」HPか
QRコードから3/4（月）までにお申し込みください。

<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp/curriculum/entry/>

お問い合わせ先：

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

Tel: 024-547-1887 E-mail: d-kokoro@fmu.ac.jp

